

-(으)십시오

～してください (합니다体の指示)

합니다体の指示形です。-(으)세요 よりかたく、案内文や公式の場で使われます。

■ つけ方

語幹	形	例
パッチムなし	-십시오	가다 → 가십시오
パッチムあり	-으십시오	앉다 → 앉으십시오
ㄹ 語幹	-십시오 (ㄹ 脱落)	살다 → 사십시오
特別な形	드십시오・주무십시오	먹다・자다 の敬語
否定	-지 마십시오	가지 마십시오
日常	-(으)세요	가세요

■ -(으)세요 どう使い分けるか

丁寧な指示を表します。이쪽으로 오십시오 (こちらへお越しください)。

세요 より硬い場面で使います。空港の案内、店の掲示、公式のあいさつなど。日常会話で使うと距離を感じさせるので、 친구や店員との会話では -(으)세요 が自然です。日本語の「お越しください」と「来てください」の差に近いと考えてください。

決まり文句がいくつかあります。어서 오십시오 (いらっしゃいませ)、안녕히 가십시오 (お気をつけてお帰りください)。接客でよく耳にする形です。

特別な敬語形は 세요 と同じです。드십시오、주무십시오。

■ 例文

- 1 어서 오십시오.
いらっしゃいませ。
- 2 이쪽으로 오십시오.
こちらへお越しください。
- 3 잠시만 기다려 주십시오.
少々お待ちください。
- 4 맛있게 드십시오.
どうぞ召し上がってください。
- 5 안전벨트를 매십시오.
シートベルトをお締めください。
- 6 여기서는 촬영하지 마십시오.
ここでは撮影しないでください。

■ 紛らわしいもの

-(으)세요
해요体の指示です。日常会話ではこちらが基本になります。
오세요. (日常) / 오십시오. (公式)

-아/어 주십시오
依頼の形です。십시오 は指示で、주다 が入ると「してもらう」意味が加わります。
기다리십시오. (お待ちください) / 기다려 주십시오. (お待ちいただけますか)

-지 마십시오
禁止の形です。案内や掲示でよく見ます。
촬영하지 마십시오.

■ まちがえやすい点

- ✕ 살으십시오.
○ 사십시오.
ㄹ 語幹は ㄹ が落ちます。
- ✕ 먹으십시오.
○ 드십시오.
먹다 の敬語形は 드시다 です。
- ✕ 친구야, 앉으십시오.
○ 친구야, 앉아.
십시오 は公式の場の形です。親しい相手には使いません。